

THE WEEKLY NEWS OF FUTTSU-CHUO

世界へのプレゼントになろう
Be a Gift to the World



「どう生きるか」諸事を見直して
実践しよう

国際ロータリー会長 K. R. ラビンドラン 2015～2016 富津中央RC会長 千葉 一利
国際ロータリー 第 2790 地区 富津中央ロータリークラブ 創立:1966/10/13 加盟承認:1966/12/12
RI D2790 FUTTSU-CHUO ROTARY CLUB Organized : Oct./13/1966 Chartered : Dec./12/1966

No.2425 第28回例会 2016. 1. 21 晴

点 鐘：千葉一利 会 長
進 行：小野恒靖 副 SAA
ソング：四つのテスト

腎臓が一つしかないので十分気を付けるようにと薬を一種類増やして様子を見ることにしました。これが、14回目の入院です、皆さんに大変ご心配をおかけしました。

会長挨拶

千葉一利 会長



先週は例会を休ませて頂き、榎本副会長、代行ありがとうございました。暮れから正月にかけて天気もよく、調子にのって重い物を運んだり、冷たい風にあたり長い距離を歩いたりしたら、時々胸が痛むようになり、8日の検診日に医師に相談しましたら、急に13日入院することになりました。いわゆる検査入院です。翌日カテーテル検査をしました、結果は以前検査した時と同じで、血管のつまりは見られないということひとまず安心しました。

ではどうしてかということになりますが、はっきりしないようで、血液検査からカリウムの値が高すぎるので、果物、生野菜は多く食べないように、食事で塩分に気をつけるように指導されました。

幹事報告

高橋裕之 幹事



1. 新会員推薦者の認証ピン及び入会者数に基づく裏当が、2016年4月1日に廃止になります。
2. 嘉義南 RC より正式な37周年記念会及び合同懇親会の案内が届きました。(回覧)
3. 地区大会参加確認
千葉、高橋(2日間参加)
1班 榎本、伊藤、志波、渡辺(哲)
2班 須藤、小野、白石(廣)、山下
3班 石渡、原田、高島
4班 鈴木、大網、渡辺(昇)、栗原
4. 富津 RC 会報受領。(回覧)

〒293-0043 富津市岩瀬 841-3
いち川旅館 Ichikawa ryokan
841-3 Iwase Futtsu-shi Chiba-ken,
Tel. 0439-65-0177 Fax. 0439-65-0177
URL <http://www.futtsuchuo-rotary.org>
Mail home@futtsuchuo-rotary.org



5. 富津 RC 例会変更の案内

2/9(火)休会

2/23(火)点鐘時間変更 12:30

3/29(火)点鐘時間変更 12:30

6. 袖ヶ浦 RC 例会変更の案内

1/25(月)点鐘時間変更 12:30

2/8(月)を2/7(日)の地区大会に振替

7. 市川シビック RC 創立25周年記念式典開催の案内

案内

日時 4/2(土)

登録開始 15:30

会場 東武ホテルレバント東京

登録料 15,000円

委員会報告

奉仕プロジェクト委員会

高島治雄 委員長

青少年担当の渡辺(哲)会員に代わってお話します。富津市ロータリークラブ旗、争奪少年野球大会の開催についてご案内致します。

来る2月14日9時30分から市民ふれあい球技広場にて開催される旨、ご案内がきております。会員の皆様の中で、お時間のある方は応援にいてあげてください。

若鍋武良 ロ財団・米山委員長

ロ財団年次寄付のご協力ありがとうございました。

年頭所感

須藤 隆 会員

委員会報告

米山記念奨学委員会よりロータリー米山奨学生の世話クラブとカウンセラー引き受けに関する案内が届いています。米山委員としてはカウンセラーの引き受け手がい



れば、クラブとして前向きに検討して欲しいとの考えです。次回理事会にこの案件を上程願います。

年頭所感

ロータリーに入会して7回目の正月を迎えました。リタイアして丸7年、自由気ままに教育・教養(今日行くところがあるか、今日用事があるか)を大事にしてきました。

7年も経つと生活パターンがややマンネリ化しているのを感じます。少しでも今までのパターンを変えてみようとの意識もあって昨年の暮れと、今年のお正月に人道博愛に関わる映画を見に行きました。お正月の映画鑑賞は60年ぶりぐらいになると思います。映画の題名は「杉原千畝」と「海難」です。「杉原千畝」の映画は、リトアニアに赴任していた日本大使の杉原千畝が、ナチスのドイツ侵攻で迫害を受けたユダヤ人が難民として日本へのビザを申請したのに対し、本国からの不許可の訓令にも関わらず、ビザを交付して6000人もの人を救った物語です。人道に配慮した勇氣ある決断にもかかわらず、戦後日本政府は彼の功績を認めず、多くの国民はこのことを知らされませんでした。彼が亡くなった14年後の2000年になって彼の素晴らしい行為をようやく日本政府が認め、当時の河野洋平外務大臣によって彼の素晴らしい行動を顕彰する談話が発表されました。

「海難」は、1889年(明治22年)オスマントルコ帝国は大日本帝国の明治天皇に親書を渡すため、親善使節団を派遣して使節団は明治天皇に謁見した後の帰国途上、折しも台風が到来し、紀伊大島沖で座礁し、船が爆発して沈没します。その爆発音を聞いた紀伊大島の村民たちが岸壁に向かうとそこにはエルトゥール号の乗組員たちの遺体が打ち上げられており、村民たちが台風の中を総出で救出に当たり、言葉も全く分からない負傷者の手当てに奔走の様がリアルに映像化されています。

この時の村人が、わけのわからない異国のヒトにもかかわらず、自分たちの利害を乗り越えて、村をあげて人命第一に救出に立ち向かったことに大変感動しました。こういうこともあって1985年のイラン・イラク戦争でテヘランに取り残された日本人が、日本政府が救援機として航空機を飛ばせずにいるときにトルコ政府が日本人のために飛行機を飛ばし、

日本人救出に一役買ったストーリーにつながったので
す。新春にあたって勇氣ある人道的な物語にあら
ためてロータリーの人を愛することの理念を思い起
こしました。7年前に比べて体力、知力の衰えを感
じるようになりました。この衰えるスピードを極力遅く
するにも今年はせいぜい運動を心掛けるようにした
いと思います。



小野恒靖 会員

皆さんあけましておめで
とうございます。

本年度の目標

1. バイオリンの上達
2. 卓球の上達
3. 囲碁の上達
4. ガバナー補佐を無事に努めること。

5. 健康に留意し無理をしない。

好奇心旺盛な私のことゆえ何処までできるか先
が読めない。

その他視覚障害のお話し、卓球場は道場である
話、全国卓球大会で1勝1敗等のお話しがありました。

三枝一雄 会員



今年の年頭にあたり、
三つのことを実行したい
と思います。

(1)医師会詩に「戦後70
年を迎えて」の記事掲載
を全うすること。現在、高
齢にもかかわらず、「千
葉県医師会雑誌」の編
集委員をやっています。

そこで勝手に「戦後70年を
迎えて」と題して「満州事変」と「満州国」から連載で
書き始めました。なぜ、無謀な戦争をはじめて負けて
しまい、なぜ70年経った今も近隣の国に謝りつづけ
なければならないのか。そこに疑問を感じて、私達の
生きてきた時代の真実を今後の若い人達に知って
貰いたいと思い、近・現代史の資料を調べています。

何か資料のある方はご教示下さい。まとまったら別刷
を作って見て頂きます。

(2)「朝日俳壇」に年間10句入選を目指す。

昨年は7句どまりでした。1回8千句ぐらい応募があ
るそうで難関ですが、努力目標です。達成したらニ
ニコ BOX を出したいと思います。

(3)無事故・無違反の車運転を目指す。

昨年はシートベルト違反注意2回、バックしてぶつ
けた(幸い自車損傷軽微、他に被害なし)こと3回、
これを反省し、家族から車の免許返還を言い渡さ
れぬよう頑張りたいと思います。

志波 克 会員



ギリシャの哲人・政治
家であったキケロが紀元
前44年に書いた「老人
について」から言葉を借
りてお話しします。

「人は皆老齢に達する
ことを望むくせに、それ
が手に入るや非を鳴らす。

愚か者の常無き心、理不尽さはかくも甚だしい。」と
ありますが、実際私に当てはめてみますと、永くや
れると思ったゴルフは筋力が落ちプレーする気力が
無くなり、女房の体が弱くなって旅行にも出られ
ず、夜の街への欲望は消滅し、社会的には高島会
員の言う「教養」(今日用の)と「教育」(今日行く所)
が無くなる、と言うことで愚痴の一つも言いたくなり
ます。

しかしまた、キケロは「自然の手で人生の他の場
面が見事に脚色されているのに、最後の幕が、あた
かもへぼ詩人によるかのように手抜きされる、と言う
ことはありそうに無い。」と言っています。老齢期も
また自然が脚色してくれ、老人にもそれなりの充実
した生き方があると言うのです。「芝居を最前列で見
るのではなく、後列の方でゆっくり楽しむ」のだそう
です。

そこで私も自然の手で運良く、老年と呼ばれるこ
の年まで生かして貰ったことに感謝し、「殆どすべ
ての快樂を奪い去られた」事に不平を言わず、「欲

望の鎖から解き放たれたことを喜び」とし、「毎日何かを学び加えつつ老いていく」事を心掛け、ゆるゆると生きて行こうと思います。

さしあたっては、今使用中のパソコンが5年を経過したので、新しく1台組み立てようと思い、パソコン雑誌を数冊買い集め、今様の部品を拾い出して見積もりを取ったところです。二十数万円になりましたが、他に欲望がないのでまあ良いかと発注しました。暫くは楽しみが継続することと期待しています。

鈴木 勉 会員



振り返ってみると、自身自身の年頭抱負を人前でお話しするという機会は、今までの人生でありませんでした。これもロータリークラブ会員になったからこそその経験です。

一年の目標を掲げ、その目標を達成しようとするならば、企業人としては、その目標は具体的な数値目標を掲げることが必要であると考えます。人はその数値目標があつてこそ、そこに向けて努力するからです。

ただ、職場での目標ならば当然成果を求めますが、自分の個人的な抱負、目標となると、なかなか前向きな気持ちになれません。来年の新年早々、振り返った時に達成できなかった事で挫折感を感じたくはありません。これを回避する方法は二つ。目標とする数値を実現可能な数値にするか、具体的な数値を入れない目標とすることです。これならば結果を振り返った時に自分自身でどうにでも判断できます。

私は迷わずこの安易な抽象的な方法をもって、今年の目標としました。

昨年は初めて入会させていただき、富津中央ロータリークラブのこと、会員の皆さんのことを知ることから始まりました。今年は、出来るだけ皆さんとの親睦を図ること、出来るだけロータリークラブについて理解することを目標にやっていきたいと思ひます。

高島治雄 会員



今年、私が生まれて7巡目の申年、84才になります。この年になって今年の抱負と考えるのは、ややおもしろい気もします。本来私は情緒的に生きるタイプの人でして、具体的な数値目標たて、

それに向かって努力することが苦手なんです。ですから具体的な目標はもっておりません。でも、私に響く句があります。文人吉家信子の俳句です。「初暦^{はつごよみ}知らぬ月日は美しく」。

この1年どんな月日が流れるか、どんな出来事が用意されているのか、そんな期待する気持ちで一日一日にチャレンジし、自らよい日だったなと振り返る日々を過ごしてゆきたい。これが私の抱負です。私の話はユーモアがなくてごめんなさい。

ニコニコ BOX

若鍋武良 ロ財団年次寄付、ご協力ありがとうございました。

合計 1,000円

出席報告

志波 克 出席担当部長

区分	会員数	出席	欠席	MUp	出席率
今回	26/24	18	6	1	79.17%
前回	26/24	21	3		87.50%
前々回	26/25	24	1		96.00%

総会員数：27名－休会1名＝26名

渡辺(哲)会員が本日欠席ですが、あらかじめメイクアップ(MUp)をして下さったので、MUp が無ければ75%であった出席率が、79.17%になりました。

